高大連携・交流ガイド 2021 年度版



東京家政学院大学

所在地

T194-0292

東京都町田市相原町 2600

T102-8341

東京都千代田区三番町 22

電話番号 042-782-9811

電話番号 03-3262-2257

連絡先

大学事務局

FAX 042-782-9880 町田キャンパス



三番町キャンパス



※バスの時刻はホームページで確認してください。

東京家政学院大学が推進する高大連携事業

趣旨

義務教育や高校教育と大学教育を連携させることで、児童・生徒・学生の「広い学力」形成の継続性をはかること、そしてキャリア形成の意識を高めることを目的にします。

さらに、大学の学びと大学生活について理解を深め、学校選択のミスマッチの防止を目指 します。

「なぜ学ぶのか。」「なぜ大学に行くのか。」「どのような職業選択をするのか。」を児童・生徒・学生がより明確にするための一助となる取り組みとして進めたいと考えています。 ここでいう「高大連携」は小学校・中学校・高等学校・大学との連携総体を指します。

基本方針

高大連携の在り方は多様であり、継続的に進めるためには相互の可能な範囲での連携が 重要であると考えます。次の点を大切にした高大連携を進めます。

- (1)教育を軸とした高校等と大学の交流・連携
- (2)児童・生徒・学生の学校選択・キャリア形成に資する活動
- (3)本学を中心とした地域の高校等との連携

連携・交流のスタイル

・協定締結学校との連携・交流

聴講牛受入れ

インターンシップの受け入れ

相互授業の乗り入れ(出張講義・出張授業・学生参加)

高校生体験プログラム(夏季休業中)

大学施設の活用

教員研修(研修会講師派遣)

共同研究・イベントの実施

協定締結校協議会の開催

その他

一般高校(小学校・中学校等含む)との連携・交流

出張講義(学生参加)

大学体験

インターンシップの受け入れ

教員研修(研修会講師派遣)

その他

協定締結学校等の一覧 (2021年4月 現在)

東京家政学院高等学校

東京都立町田総合高等学校

東京都立忍岡高等学校

神奈川県立相原高等学校

神奈川県立橋本高等学校

神奈川県立相模原総合高等学校

川崎市立川崎高等学校

神奈川県立相模田名高等学校

神奈川県立城山高等学校

神奈川県立上鶴間高等学校

私立光明学園相模原高等学校

八王子市立椚田中学校

八王子市立横山第一小学校

東京都立町田の丘学園

東京都立山崎高等学校

神奈川県立愛川高等学校

神奈川県立津久井高等学校

神奈川県教育委員会 生徒学習活動コンソーシアム (平成28年12月14日)

海外連携校

★高校等と大学との連携でどのようなことができるか

☆児童・生徒に対して

- ①出前授業
 - 回数・・1回の講座又は連続講座
 - 内容・・一般教養としての講義、専門的な講義、分かりやすいテーマを提示し、興味・ 関心を高める講義、高校の授業を深化させた内容、継続的に授業に入り基礎学 力の形成を援助する講義等
- ②課題研究・発展学習(新学習指導要領の探究科目) 調査方法・研究方法・研究計画・まとめや発表の方法・仕方等のアドバイス 大学・研究所等の専門機関への紹介等
- ③高校独自の分野別説明会の設定協力
- ④インターンシップ・大学体験 (研究室での交流・・課題研究についての相談等)
- ⑤大学施設を活用した授業(夏季特別講座等)
- ⑥イベント参加

☆大学生に対して

- ①授業補助・・家庭科実習の補助、学校教育活動の補助
- ②部活動補助
- ③プレ実習(3年次を主として)
- ④ボランティア活動
- ⑤授業見学

☆先生に対して

- ①各教科・科目の深化のための協力(先端の学問的内容等の提示)
- ②共同授業研究・・若手教員への指導・援助
- ③高校の教科・科目の設計・運営(カリキュラム検討支援)
- ④教員研修への講師派遣
- ⑤施設の活用(図書館等)
- ⑥学部・学科説明 (入試・広報)
- ⑦教育委員会主催の各種教員研修会

☆大学教員に対して

- ①学習指導方法の検討(特に初年次教育)
- ②授業見学による基礎学力の確認
- ③学習指導要領の改訂に伴う探究活動の援助
- ④高校の教科・科目の理解(カリキュラム構造等)

★過去の実践事例(抜粋)から

• 理科実験教室(夏季休業中) 町田総合高校生徒

・総合的な探究の時間として 「論文の書き方」 平塚中等・小田原・横浜清陵

グループ研究の指導 大和

発表会 町田総合・相模原総合・若葉総合

課題研究発表会 本学主催 相模原総合・町田総合・城山・上鶴間・橋本・相原

光明学園相模原 参加50名

・協議会での研究協議 「見えない学力の育て方」 本学学長

「中学校のアクティブ・ラーニングの現状と課題」 棚田中校長

「総合学習の取り組み」光明学園相模原 進路副部長

・インクルーシブ教育支援 橋本・上鶴間

• 教員対象研修会 相模田名

・小学校、中学校、高校への授業見学・授業補助・ボランティア活動・留学生交流 今後の取り組み

- 1 学年全員の大学体験、「学校外の学修」の取り組み、探究活動のサポート
- ・家庭科授業へのサポート

★お申し込みについて

期 間 2021年4月1日~2022年3月31日

申 込 ①FAX 又はメールにて大学にご連絡ください。

送付先 大学事務局 FAX 042-782-9880

②担当より折り返しお電話又はメールをさせていただきます。

大学の業務日程等の関係でご希望に対応できない場合もあります。

ご理解いただきたいと思います。

講義貴校の授業時間に対応します。

経 費 大学で対応します。遠距離の場合についてはご相談させてください。

書 類 ①大学より高校へ FAX 又はメールでご連絡します。

②高校等からは学長宛の依頼状をお送りください。(必要な時にご連絡します)

その他 資料・機材等については、後日ご相談させていただきます。

終了後のアンケートをお願いすることがあります。今後の資料として活用させていただけるとありがたいです。

問合せ 042-782-9838(直通) FAX 042-782-9880

教育・研究推進グループ 高大連携担当

高校等と大学の連携・交流事業申し込み用紙

同议分し八十少年的・文川学未中し四少円川										
基礎情報										
学校名				担当の先	生					
電話番号			FAX番号							
希望される活					O印をしてください。					
科目聴講生受入れ			インター	ンシップ		出張講義・出張授業				
高校生体験プログラム			大学施設の活用			教員研修 (研修会講師派遣)				
共同研究・イベント			大学体験 (図書館体験)			高校の教科・科目 の設計・運営				
学部·学科説明 (入試·広報)										
企画内容		I								
企画の	テーマ									
趣)io									
希望日時			月 月	8	() : ~) : ~			:	
場	所									
対象学年・年次、人数		学年•年次				名				
その他(何でも)										

送付先 大学事務局 FAX 042-782-9880